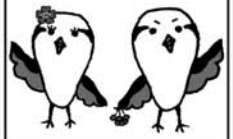


# 「うらほろフォーラム2014」開催

2月15日(土)浦幌町コスミックホールにて、「うらほろフォーラム2014」が行われました。今年も町民をはじめ、うらほろスタイル(以下うらスタ)関係者、道教大釧路校の学生など多くの方々が参加しました。

# 浦幌新聞



道教大釧路校の、長澤愛里、立野里奈、本間悠資、住吉泰斉、長縄祐太が担当しました。

## うらスタ塾計画発表も

「うらほろフォーラム」は、うらスタの今までの活動を報告し、それを踏まえて今後どのようにうらスタを進めていくか等を考えるものです。活動報告は、学校編、連携編、地域編、未来編の4編に分かれて各分野の代表者の方によって発表されました。

### 地域への愛着育む

学校編では、浦幌小の中村吉昭校長先生から、同校では「産業」、厚内小では「漁業」、上浦幌小では「農業」など、地域にあった学習を行い、各学校で地域への愛着を育むための取組を行っていることなどを説明していただきました。

### 仲間、地域との絆

続いて、浦幌小の加藤里美先生と6年1組の児童たちによって、自分たちが浦幌のためにどのような学習をしてきたかが発表されました。同クラスでは、「仲間との絆、学びとの絆、地域との絆」を学級目標に掲げ、総合学習の時間では、「浦幌とつながろう」というテーマのもと、浦幌活性化のためのいくつかの案を考案。ランドセルカバーにウラハとホロマのイラストを入れるというものや、新しいコントロリーサインのデザインを考えるなど、活動的な印象を受けました。

うらほろフォーラムの最

浦幌小で教育実習を行った道教大釧路校の2名と久門教育長



た。また、上浦幌中の白井将之教頭先生によって、同中学校の総合学習の知愛の時間の活動について報告されました。

### 大人の姿勢も魅力

連携編では、昨年浦幌小で教育実習を行った、道教大釧路校の学生2名によって、教育実習の経験、またそれに伴い約1か月間浦幌で生活して感じたことなどが発表されました。「浦幌の大

たつぷり遊んだ子は伸びる

人たちの姿勢に魅力を感じた。「地域に合わせた教育の大変さを感じた。」という感想が印象的でした。

地域編では、大人が子どもならでの案を受け止め続けることの大切さを再確認しました。

### 起業創業ラボ設置

未来編では、現在の課題である「若者の雇用先不足」について、平成25年度から「若者のしごと創造事業」が新たに加わったことを確認し、新たなステップとして「起業創業ラボ」の設置、「うらスタ塾」の運営を計画しているということが発表されました。

今回フォーラムに参加して、浦幌の大人たちの熱意を改めて感じました。これからのうらスタの更なる展開に期待しつつ、自分にもできることを探していきたいと思えます。

(立野里奈・本間悠資)

重なる関係が築けているこ



北海道教育大学釧路校の今泉副学長よる特別講演の様子

## 「上浦に道の駅」構想も

### 「知愛」濃い内容、堂々発表

26年2月20日、上浦幌中学校で行われた、総合的な学習の時間「知愛の時間」の発表会を見学させて頂きました。

3年生は、今年度育てた小麦の収量や気候等のデータを考察したもの、その小麦の活用法、レシピ本の発表がありました。さすが3年生という、本場にレベルの高い発表でした。データや

写真などを上手く使い説得力を持たせた発表は、とても分かりやすく、堂々とした発表でした!!

1年生は「地域学習く上浦幌に道の駅をつくらう」という壮大な計画のもと、違う町の道の駅を見学し学んだことをまとめていました。それを参考に、上浦幌の道の駅で出す弁当のレシピ、道の駅的设计図、特産品、パン

後に、北海道教育大学の今泉博副学長より、記念講演をしていただきました。

今泉副学長がこれまで経験してきたことや、その経験をを通して得られたもの、見つけ出したもの

についてたくさんのお話がありました。特に、子どもと大人はお互いに育ちあう関係にあることが大切であるといったことや、

## 尊重し合う大人と子供

### 浦幌の教育力

（探求することが大切である）といったことを強くお話しされていました。

こうしたお話を聞き、浦幌はそういった教育の要素

が非常に充実しているように感じました。浦幌小の発表からは、大人と子供が意見を出し合って浦幌の活性化に努めることで互いを尊

とを感じ、健康公園や森林公園のキャンプ場のように子どもたちが目一杯遊べる施設も整っており、様々な種類の遊びを子どもたちは

考えることができると思うからです。この

ように様々な教育力を秘めた浦幌にこれからも積極的にかかわり、私も浦幌とともに成長していきたいと思

いました。（住吉泰齊）

フレットなど、生徒それぞれが考え発表していました。質疑応答では、「料理にだすウインナーも上浦幌産？」という質問に、発表者が「それはスーパーで」と、爆笑の

場面も。非常にわくわくする発表でした。2年生の発表では特に全員が発表した職場体験学習が印象的でした。電話対応の実演や、老人ホームで

していたゲームを実際にしたり座りながらできる体操をしたりなど、工夫の凝らされた発表方法で、とても楽しんで見ることができました。そしてその中でも特に記憶に残っているのが、どの生徒も「仕事

上浦幌中学校の総合の時間での発表



が、どの生徒も「仕事

私は今回発表会を見学させていただき、生徒たちの学んだことの内容の濃さと、それを伝える発表の上手さに驚きました。来年度以降の「知愛の時間」の発展が今から楽しみです。（長縄祐太）